

「一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟」との協議等議事録（要旨）

福祉局

- 1 日 時 令和 8 年 7 月 22 日（水） 15：00～16：00
- 2 場 所 大阪市役所 地下 1 階 第 1 共通会議室
- 3 団 体 名 一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟
- 4 協議等の趣旨 令和 9 年度制度・政策及び予算に関する要望
- 5 出 席 者
（団体側）
代表者 他 12 人
（本 市）
福祉局 5 人
- 6 議 事

（1）介護人材確保施策の強化について（項目番号 3（1））

団体要望概要

- ・介護人材の確保については、すぐに解決策のあるものではない。このような機会に課題を共有することで、大阪市も共に悩みながら取り組んで欲しい。
- ・本人が介護への道を希望しても、学校の先生や親世代に拒否感があり、就職に結びつかないことがある。介護・福祉に関する理解促進やイメージ向上は非常に重要であり「介護の魅力伝え隊」による中学校・高校に直接的な働きかけを行う機会が欲しい。（要望のみ）
- ・人材紹介会社の高額手数料（採用コスト）が経営を圧迫し、短期離職を誘発するような構造への懸念がある。国への規制・上限設定等の働きかけをお願いしたい。（要望のみ）
- ・後期高齢者や認知症患者は今後増加する見込みであるが、その受け皿をサ高住に委ねてよいのか。（意見のみ）
- ・職員用の宿舍整備に係る補助金について、技能実習生を受け入れる際のアドバンテージになっており、当該補助制度は的を射ていると考えている。（意見のみ）
- ・特定技能（介護）で来日した外国人の方が在留期間（通算）5 年を超えて日本で就労・在留を続けるためには、介護福祉士の国家資格の取得が必要になるため、資格取得に係る支援等をお願いしたい。（要望のみ）

本市説明概要

- ・福祉・介護人材の確保・育成・定着については本市としても課題と認識しており、協力して取り組んでいきたい。

(2) 物価高騰・経営支援について（項目番号3（2））

団体要望概要

- ・昨年度も物価高騰支援を行っていただいたが、物価の状況はさらに悪化しており、食材費だけでなく、給食委託費、光熱費等が上昇、給食事業者から撤退を示唆されるケースもある。国の臨時交付金を前提にするのではなく、市単独でも支援を検討してほしい。
- ・「大阪市特別養護老人ホーム等施設の長寿命化を目的とした大規模修繕補助」は市老連が従前から要望し実現したもの。是非、引き続きの実施をお願いしたい。一方で、去年と比べて大規模修繕の工事費用が物価高等で上がっている。市単費での補助を今年、行ってほしい。介護報酬を10%アップしてもらわないと経営ができない。市単費の上乗せができないのであれば、是非、国に働きかけてほしい。
- ・「大阪市特別養護老人ホーム等施設の長寿命化を目的とした大規模修繕補助」は、介護保険制度が始まる前に建設した建物が補助対象となっているが、制度開始後に建設された特別養護老人ホームの方が数としては多い。これらの施設も経年劣化が進んでいるため、補助対象に加えることについて検討してほしい。
- ・建築コストが上がっており、坪単価200万円を超えている。建替えは事実上無理である。川崎市は補助制度において市独自の上乗せ支援を行っているが、大阪市は行っていない。特養はこれから間違いなく建て替えができないから無くなるか施設を合併するかになる。この課題を一緒に考えていただきたい。

※団体からの意見・要望のみで本市からの説明はなし

(3) カスタマーハラスメント（カスハラ）対応への支援について（項目番号3（5））

団体要望概要

- ・カスハラについては、自分たちで悩まないでというメッセージ性のある、事例共有を中心とする研修を実施して欲しい。
- ・他市でケアマネ刺殺事件も発生する中、介護現場で深刻化するカスハラは職員の疲弊や早期離職を招き、介護サービス提供体制の維持に直結する重大課題であるため、事業者任せにせず、行政が条例の制定、訪問系事業所への防犯ブザー補助、カスハラ事案の共有などを進めるべきである。

※団体からの意見・要望のみで本市からの説明はなし